



e-kensinマップ

地番図から
不動産情報を
ワンストップ入手

さっぽろ圏域



ニュースのお知らせ

北海道建設新聞社

編集局へ

工事受注19%減、901億円

札幌市財政局 25年度の業者別実績

札幌市財政局の2025年度業者別工事受注実績が本紙集計でまとまった。前年度と比べて17者少ない431者が19・7%減の901億7515万円を獲得。7件、30億6017万円を積み上げた北土建設が第3四半期(10-12月)からの首位を守った。

30億円を獲得した北土建設が首位

同局が公表した開札結果を基に、各社の落札・決定額を税抜き契約ベースで集計した。共同体系は出資比率に応じて配分。過年度に発注した債務負担行為設定工事は、25年度支出分を加味していな

札幌市財政局2025年度
業者別工事受注実績・上位20者
(金額・単位千円)

業者名	所在地	件数	金額
1 北土建設	中央区	7	3,060,177
2 新太平洋建設	中央区	5	2,208,691
3 工成舎	西区	5	1,695,878
4 札幌土建工業	豊平区	2	1,693,600
5 丸彦渡辺建設	豊平区	8	1,689,857
6 明電舎	東京	3	1,553,000
7 山崎建設工業	中央区	1	1,525,750
8 田中組	中央区	7	1,332,345
9 伊藤組土建	中央区	1	1,198,500
10 オオイ工務店	東区	5	1,079,530
11 タクマ	兵庫	4	1,045,800
12 勇建設	中央区	3	1,032,495
13 一二三北路	北区	4	1,026,016
14 ダンテック	東区	3	919,090
15 建築設備北海道	白石区	4	894,870
16 新立大興業	豊平区	6	860,377
17 石塚工務店	東区	4	829,878
18 大富工業	東区	9	806,745
19 井上技研	東区	3	789,460
20 和泉組	豊平区	2	781,300

市外の道内業者は5者で3億2805万円。業者数で3者、額で7・2%それぞれ増加した。シェアは0・1%上昇の0・3%だった。道外業者は2者増の44者が40・5%減の98億41万円を受注。シェアは10・9%で、3・7%縮小した。

上位20者のうち市内業者が18者占めた。北土建設は新川処理区山の手2条8丁目ほか下水道新設を17億8900万円、うち、第4四半期(1-3月)に6件を積み上げた。

2位の新太平洋建設は市営住宅美香保団地建て替えB棟新築主体などを落札。西部スラッシュセンター旧1・2系焼却施設機械設備ほかなどを受注した工成舎が3位につけた。

B5軽油、建設業界に普及を

一二三北路(本社・札幌市北区)と、石油製品販売などの札幌アポロ(同・札幌市中央区)は、バイオマス由来の原料を配合し、CO2排出量を5%削減できるB5軽油の普及を連携している。工事現場単位で利用するケースが多いが、一二三北路の道路パトロールカーに常時使用。重機への利用も視野に入れ、建設業界の浸透に一役買う。

軽油に廃食用油などを5%以下混合するB5軽油。通常の軽油と同等の性能を持ちながら、CO2削減に貢献できる燃料として利用の油と、道内から集荷した使用済み植物油を原料に、エ



アウォータライフンリユーション(本社・札幌市豊平区)の石狩工場で製造している。通常の軽油に比べて1リットルあたり50-60円ほど割高になる。道路パトロールカーへの使用を皮切りに普及を図る。

道路パトロールカーで使用、CO2削減に貢献

「CO2削減の取り組みが加速する中、導入しやすい商材。継続的に利用してもらえれば」と意気込む。

工事本格

丸菱建設(本社・札幌市東区)は16日、札幌市プラザで安全大会を開いた。当り前の行動を確実に積み重ねることを誓った。丸菱建設は、引き続きまい進することを申し合わせた。写真、協力会社と合わせた。丸菱建設は、前年度の重大災害を報告した上で、「日々の作業は常に危険と隣り合わせ」と語り、安全意識を高めることを誓った。



池田会長ら全役員留任

札幌市設計同友会が総会

札幌市設計同友会は16日、ニューオータニイン札幌で第46回通常総会を開いた。任期満了に伴う役員改選で池田憲一会長は全員の留任。研修会の開催、橋梁緊急点検訓練の実施などを盛り込んだ2026年度の事業計画を決定した。

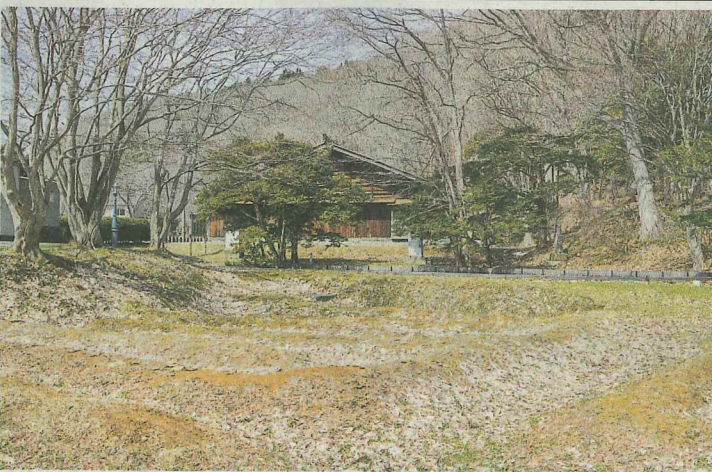


冒頭のあいさつで池田会長は、市内全区で毎年実施している橋梁緊急点検訓練などが、市からの信頼獲得につながっていること、活動への協力を求めること、今後とも会の活動に協力をお願いしたいと呼び掛けた。26年度事業で、独占禁止法に関する研修会や現場見学会を計画。連携協力協定に基づく各区の橋梁緊急点検訓練、メンバーシップを踏まえた市への要望活動を続ける。

基本設計を5月公告

北広島市が敷地再整備 旧島松駅通所活用へ

北広島市は史跡旧島松駅通所の保存活用に向け、敷地再整備の基本設計を5月上旬にも一般競争公告する。敷地内は石碑や小規模な田んぼなどがあり、経年劣化に対応して更新する。2026



久蔵の水田を復元した赤毛目木田

年度に基本設計、27年度に実施設計を終え、28年度に施工する計画だ。

26年度は事業費1200万円を計上。業務期間は300日を見込んでい